

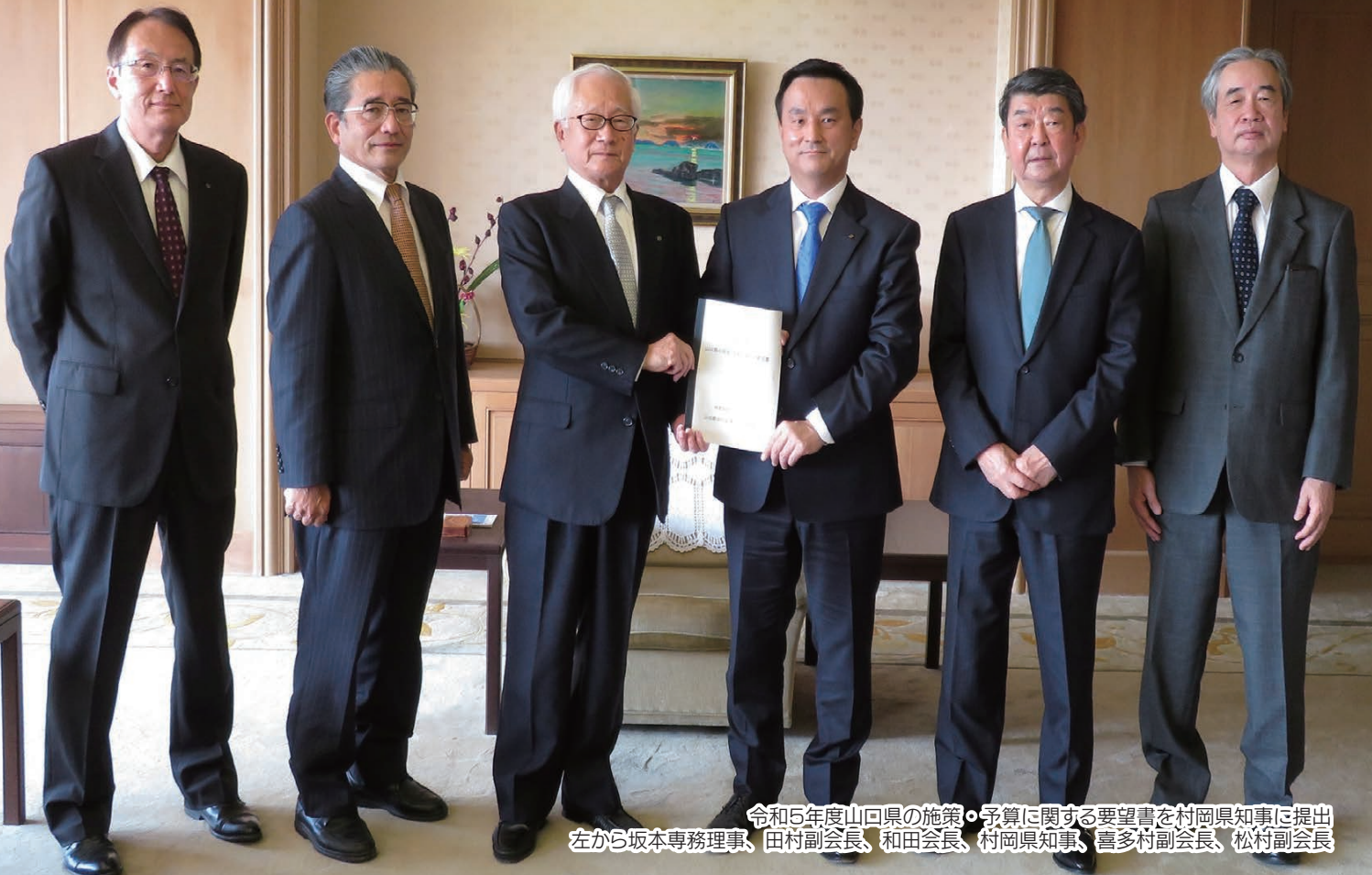
中央会やまぐち



- 特集**
- ①「第74回中小企業団体全国大会」を開催
 - ②令和5年度山口県の施策・予算に関する要望書を提出

Close Up組合 ライフスタイル協同組合
中央会TOPICS
組合TOPICS
景況動向

12
2022
DEC
Vol.776



令和5年度山口県の施策・予算に関する要望書を村岡県知事に提出
左から坂本専務理事、田村副会長、和田会長、村岡県知事、喜多村副会長、松村副会長

理事長

船崎美智子 氏



Close Up 組合
クローズアップ

ライフスタイル協同組合

〒746-0018 周南市大神一丁目17番32号

TEL 00834-63-5596

FAX 0834-63-7510

URL <http://l-happystyle.com/>

理事長 船崎 美智子



お客様の想いを引き出し、つなげて、「しあわせスタイル」を提案

女性による協同組合の設立

当組合は、女性起業家の支援等を目的に、それぞれ専門知識を有する女性事業者で平成26年5月に設立しました。県内の協同組合で、女性だけで設立されたのは当組合が初めてです。各種イベント・セミナー企画運営事業とファシリテーション・ワークショップ事業を行っています。

女性起業セミナーWITTYの企画運営

平成26年～令和元年まで、子育て期にある女性の労働力率低下の解消や、女性の活躍促進を図るため、山口県から委託を受け、「女性起業セミナーWITTY」の企画運営を行いました。講師陣はすべて女性で、女性ならではの事情や悩みにも寄り添った講義となりました。受講生は200人以上で、多くの女性起業家を生み出しました。



女性起業家のためのビジネスメッセ開催

WITTY 事業が終了した後も、女性起業家の事業を紹介し様々な事業者とつながれる機会を作るイベントを開催しています。コロナ禍でオンライン開催とした年もありますが、令和4年度はリアル開催できるようになりました。

令和4年12月16日(金)、令和5年1月28日(土)の二日間は、先輩起業家の事例紹介やワークショップ、支援機

関等との個別相談などを行う「女性起業支援ミーティング」を開催します。そして、令和5年1月29日(日)には、ワークショップや女性起業家によるプレゼンテーション、商品や事業を紹介する展示販売などを行う「オレンジメッセ」を開催します。女性起業家は自分の事業をPRでき、また参加する企業は様々な能力を持った女性とつながることができ、双方にとって貴重な場となります。



海と日本プロジェクトinやまぐち

平成29年から、日本財団の「海と日本プロジェクトinやまぐち」の企画運営をしています。山口県の海の現状をテレビ・ラジオやイベント、インターネット等を通じて子供達をはじめとした人々に発信し、未来につながる行動に結びつけることを目的としています。最近では、県内の小学生を対象に、須佐湾のホルンフェルスやケンサキイカについて学んだり、海に潜ってサザエを獲り、イカを自分たちで捌いて味わったりと、豊かな海とそれを育んだ大地の素晴らしさを学べるイベントを開催しました。

今後の展開

当組合では、「キク・ツナグ・ウゴク」をキーワードに事業を行っています。今後も、山口県に暮らす人々の暮らしに根ざした「しあわせスタイル」を提案できるような事業をしていきます。

特集1 「第74回中小企業団体全国大会」を開催

全国中小企業団体中央会・長崎県中小企業団体中央会は、11月10日(木)、「出島メッセ長崎」(長崎市)において、「第74回中小企業団体全国大会」を開催、全国から中小企業団体の代表者約2,000名が参集し、山口県からは和田会長を始め14名が参加しました。

来賓として、小林洋司・厚生労働審議官、平田研・長崎県副知事、田上富久・長崎市長、関根正裕・株式会社商工組合中央金庫代表取締役社長よりご祝辞を頂戴し、西村康稔・経済産業大臣、野村哲郎・農林水産大臣よりビデオメッセージを頂戴しました。

大会は、石丸忠重・長崎県中小企業団体中央会会長が議長に、桑野龍一・福岡県中小企業団体中央会会長、佐藤勘三郎・宮城県中小企業団体中央会会長がそれぞれ副議長に選任されて議事が進行し、国等は、「中小企業・小規模事業者等の経営 強化化・成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」について取り組むよう決議しました。



全国中小企業団体中央会森会長

また、本大会の意義を内外に表明するため、山下顕伸・長崎県中小企業団体中央会青年部会長が、「大会宣言」を高らかに宣し、満場の拍手の下、採択されました。

これと併せて、本大会では、優良組合(40組合)、組合功労者(74名)、中央会優秀専従者(27名)の表彰が執り行われました。(山口県からの表彰者は次頁)

次期全国大会については、2023年10月11日(水)に、宮城県において開催することと決定しました。



西村康稔経済産業大臣によるビデオメッセージ



山口県からの参加者

【全国大会決議】、【重点事項】、【全国大会大会宣言】はこちらからご覧ください。



【全国大会決議】



【重点事項】



【大会宣言】

中小企業団体全国大会の
より詳しい内容はこちらから

全国中央会 全国大会 検索



第74回中小企業団体全国大会において、山口県からは優良組合として協同組合下関造園クラブ（森和義理事長）、組合功労者として、本会理事である西嶋徹也氏（山口県板金工業組合理事長）、中央会優良事務局専従者として、平田裕美主任が全国中小企業団体中央会会長より表彰されました。



森理事長



西嶋理事長



平田主任

特集2 令和5年度山口県の施策・予算に関する要望書を提出

山口県中小企業団体中央会

中央会では、県下7か所で開催した移動中央会等において、会員の皆様からお聞きしたご意見・ご要望を取りまとめ、国や山口県の施策・予算に反映していただくよう、要望活動を展開しているところです。

その一環として、11月4日(金)、和田会長、田村副会長、喜多村副会長、松村副会長、坂本専務理事が村岡山口県知事を訪ね、直接要望書を提出しました。知事からは、「日頃の県施策への協力に対し感謝する。要望内容については、施策・予算検討の参考にし、皆さんが安心して業務の遂行ができるよう考慮したい。」との言葉をいただきました。

また、10月18日(火)に実施した自由民主党山口県支部連合会への要望に続き、11月7日(月)には、公明党山口県本部の政策懇談会に坂本専務理事が出席し、要望書を提出するとともに説明を行いました。

今後とも、会員の皆様の声を、国や県にしっかりと届けてまいります。

《令和5年度山口県施策・予算に関する要望書項目》

- 1 厳しい経営環境を乗り越えるための中小企業間連携への支援
- 2 現下の危機的課題の克服に向けた経済再生支援策の拡充強化
- 3 社会的課題に対し連携の力で解決を図る取組への支援
- 4 中小企業等の担い手確保に向けた支援の強化
- 5 中小企業等の事業活動を支える環境の整備
- 6 地域に根ざした地方創生に資する取組への支援



山口県中央会HP
<http://axis.or.jp/>

※要望内容の詳細は、山口県中小企業団体中央会のホームページをご覧ください。



村岡県知事に要望書を手渡す和田会長



公明党山口県本部へ要望書を提出

ドラマ「ファーストペンギン」の坪内氏を講師に講演会と交流会を開催 山口県中小企業団体中央会女性活躍推進協議会

11月4日(金)、山口市「かめ福オンプレイス」にて、当協議会の副会長である株式会社GHIBLI 代表取締役坪内知佳氏を講師に、「ファーストペンギン シングルマザーと漁師たちが挑んだ船団丸の奇跡」と題した講演会を開催しました。全く知見のなかった漁業の世界に飛び込み、漁師たちと共に漁業の6次産業化に取り組んだ経緯や今後の展開等についてお話いただきました。

その後、会員による交流会を開催しました。各々が抱えている事業上の課題をテーマに各班に分かれて話し合い、集客や広報、事業の進め方など様々な課題を共有しました。また、会員相互の交流をさらに深めていきたいといった声も聞かれました。
(連携支援部 竹中)



宮城県への視察 青年部交流・研修事業を実施 山口県中小企業団体中央会青年部

中央会青年部では10月27日(木)～10月28日(金)に宮城県への視察を行いました。

1日目は宮城県内で東日本大震災による最も被害を受けた女川町と石巻市を訪問、震災遺構として保存されている旧女川交番、津波火災の被害をうけた門脇小学校、津波の経験と教訓を次代に伝えるはみやぎ東日本大震災津波伝承館を訪問、被害の凄まじさと復興の様子を学びました。



2日目は宮城県中小企業団体青年部連絡協議会のご厚意により同会の視察行事に参加、株式会社一ノ蔵を視察しました。手づくりを貫く酒づくりとその理由、震災から11日後には出荷再開できたこと、現在の事業など伺いました。

不測の事態は起こり得ることと事業者としての備え、取り組まなければならないことを学びました。

(連携支援部 前田)



山口県経済5団体懇話会・山口県知事との懇談会を開催 山口県中小企業団体中央会

山口県経営者協会、山口経済同友会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会及び山口県中小企業団体中央会で構成する「山口県経済5団体懇話会」は、11月18日(金)、山口市内にて、「第20回山口県経済5団体懇話会・山口県知事との懇話会」を開催しました。

はじめに、山口県経済5団体の活動について報告、協議が行われた後、村岡県知事の講話がありました。村岡県知事からは、現在策定中の「やまぐち未来維新プラン(案)」の説明があり、特に、グリーン化・デジタル化による本県産業の持続的成長に向けた強い意気込みと様々な取組が述べられました。

その後、村岡県知事と各団体の長・専務理事等との意見交換を行い、今後の山口県の経済活性化と様々な課題解決のために、県と各団体が連携していくことの重要性を再確認する機会となりました。

(総務企画部 後)



DX導入セミナーを開催

山口県中央会中小企業振興会

10月21日(金)、山口市「山口グランドホテル」にて、DX導入セミナーを開催しました。本セミナーは、ポリテクセンター山口が実施する「生産性向上支援訓練オーダーコース」を活用し、カリキュラムモデルのうちの、「DXの導入」を基本に、要望等に合わせて内容を調整しました。香川県中小企業診断士協会

矢野裕道氏を講師に、DX導入事例を基に、自社の現状分析と課題を洗い出す演習までを行い、DXで解決できる課題は何か考えました。

参加者からは、「自社の課題と、それがデジタル技術において解決できるかどうか、考え直すきっかけになった」「DXの導入手順についてよく理解することができた」といった声がありました。

(総務企画部 宇多村)



「中小企業組合検定試験」対策勉強会を開催

山口県中小企業団体中央会

11月2日、9日、16日の3日間、12月4日(日)に実施される「中小企業組合検定試験」対策の勉強会を、本会平田指導員(中小企業組合士)を講師に開催しました。今回の勉強会では「組合会計」「組合制度」「組合運営」

の3科目を3日間でそれぞれ勉強しました。オンラインでも同時に接続し、延べ20名弱の方に受講いただきました。各回、過去問を基に、試験の傾向とポイント、勉強の仕方など、時に受講生からの質問にも回答しながら、理解度を深めてもらう形で進めました。

受講生からは「少人数の勉強会だったのでピンポイントでわからないことが聞けて助かった」「何から勉強すればいいかわからなかったが理解できた」などの声がありました。

(連携支援部 岡村)



組合TOPICS

BCP策定専門家派遣を実施

みどりの風協同組合

11月11日(金)、山口市阿東徳佐 みどりの風協同組合事務所にて、中小企業診断士佐伯昌之氏から、不測の事態にあっても事業を維持させる事業継続計画(BCP)や国の事業継続力強化計画の概要の説明を受け、各社の事業や取組について聞き取りが行われました。また、組合員同士の連携を高める取組について助言をいただきました。従業員を多数雇用している組合員では安全確保が最優先事項であり、予めの対策、想定が重要なことを改めて認識しました。

(連携支援部 前田)

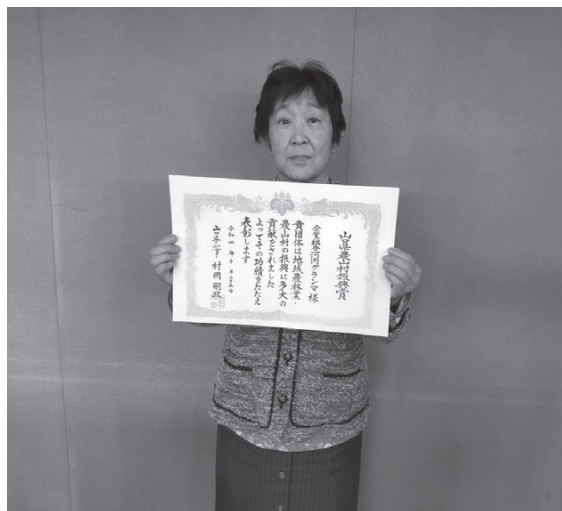


山口県農山村振興賞を受賞

企業組合河内グランマ

当組合は、地域の農林業・農山村振興に特に顕著な業績を上げた団体・個人に対して贈られる「令和4年度山口県農山村振興賞」を受賞し、10月25日(火)、山口県庁において表彰式が行われました。この賞は、1次産業の振興を目的に1966年に始まった歴史ある表彰制度で、市町などの推薦を基に決定されます。

鈴山理事長は、「高齢、過疎の進む地域で何か出来ないかとの思いで、仲間が集まり平成26年に『河内グランマ』を立ち上げ、平成29年に社会的信用や働く環境整備等を視野に入れ法人化した。組合員も高齢化が進み、次世代へ繋ぐのが課題になってはいるが、今回の受賞を励みに、これからも地域活性化の手助けになれるよう皆で頑張っていきたい」と語られました。(連携支援部 竹中)



「モノ」から「コト」へのライフスタイルセールスを目指したセミナーを開催

山口県石油商業組合

今こそ接客変化の時！～カーボンフリー時代を勝ち抜く為の「接客」「販売」「CS」～と題した講習会が、山口グランドホテルにて開催されました。

ガソリンスタンド業界を取り巻く環境は、カーボンフリー時代や2050年までに温室効果ガスをゼロにすることを目指した自動車のEV化の流れ、スーパーなどの一角にも設置され始めているEV充電スタンドがライバルとなることが見込まれるなど、日に日に厳しさを増しています。



このような中、選ばれるスタンドになるには、「モノ」から「コト」へのライフスタイルセールスをすることが、顧客満足から顧客感動の時代においては重要である等のお話がありました。

参加者からは、「業界を取り巻く環境は厳しいので、本日も学んだ接客サービスのポイントを店舗に持ち帰り、活かしていきたい。」といった声が聞かれました。

(連携支援部 花田)



事業者研修会を開催

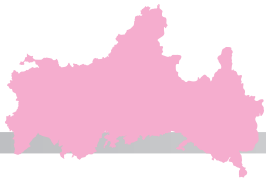
下関個人タクシー協同組合

10月29日(土)、下関市「海峡ビューしものせき」にて、事業者研修会を開催しました。

本研修会は業界が抱える諸課題について講師を招いて学ぶもので、合田賢治税理士事務所 所長 合田賢治氏を講師に消費税適格請求書等保存方式(インボイス制度)について、山口運輸支局 首席運輸企画専門官 蔦真氏を講師にタクシーを巡る最近の情勢について、山口県警察本部 警部補 利重明宏氏を講師に最近の交通事故情勢と高齢ドライバーの事故防止対策についてそれぞれ講話があり、最後に全国個人タクシー協会中国支部の役員より個人タクシーや中国支部の現状について説明がありました。

参加者からは、「業界を取り巻く課題について皆で認識する良い機会となった。事業者間で課題を共有できたのでこれからは関係事業者が一体感を持って解決に向けて取り組んでいきたい。」といった声がありました。(連携支援部 小倉)





月次景況調査結果

令和4年10月期

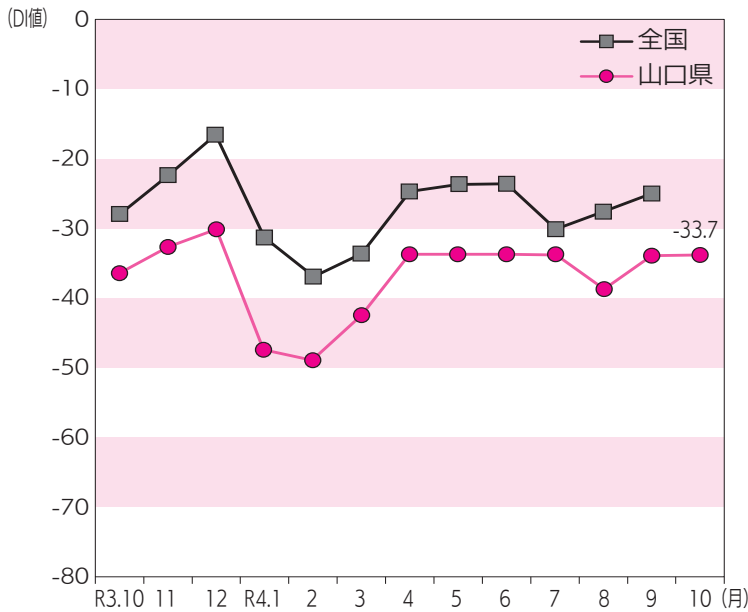
10月は、新型コロナウイルスの感染者数が落ち着きを見せ、「全国旅行支援」等の行政の景気刺激策もあり消費需要が増加したことから、関連する業種において売上・受注は好転している。

一方、物価、原材料費、電気料金の高騰はあらゆる業種の経営負担となっており、相次ぐ仕入れコストの上昇に価格転嫁が追い付かず収益を圧迫していることから、景況DI値は横這いとなっている。

今後も、原材料費等の高騰は続くと思われ、また、人手不足やコロナ再拡大への懸念もあり、先行き不透明感への不安が続いている。

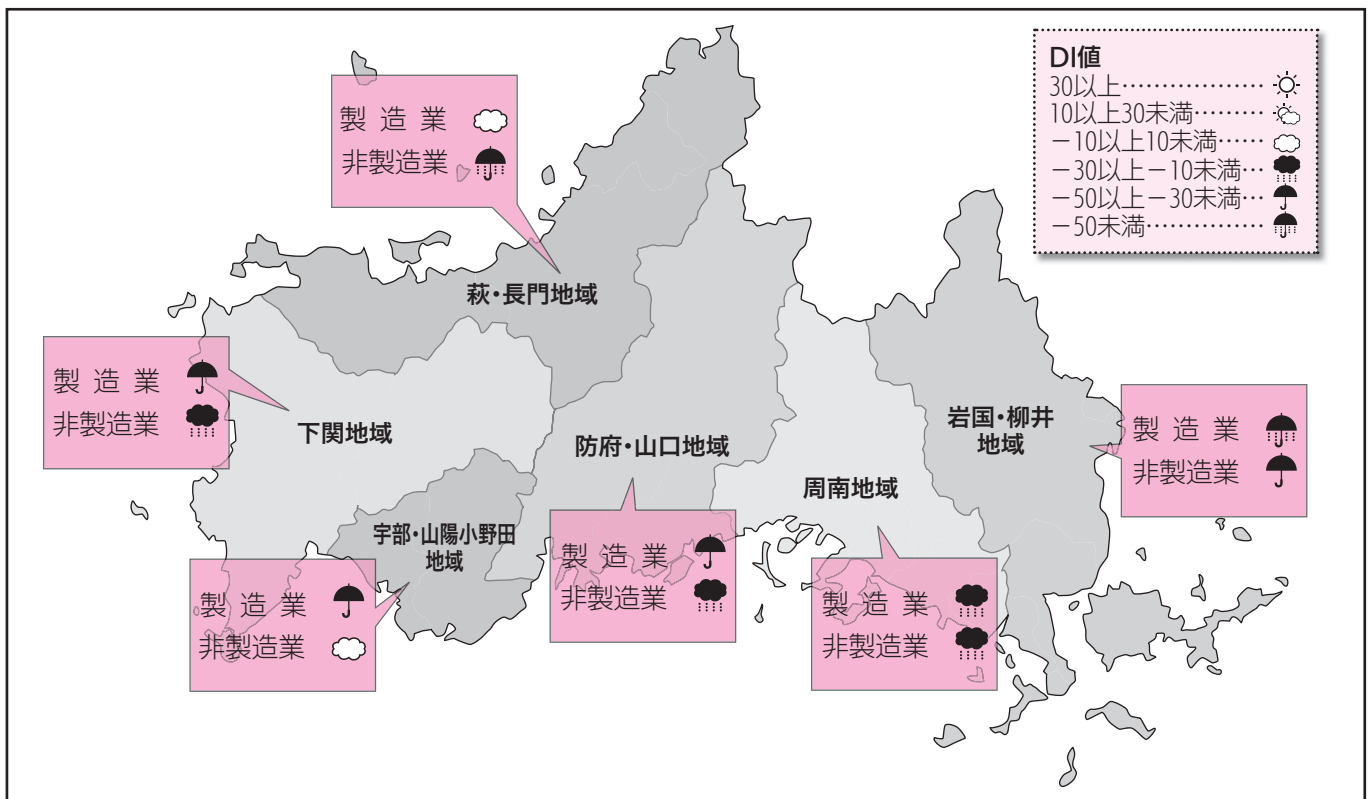
※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合

業界の景況DI値の推移 - 全国平均との比較 -



業種別の景況

	業種	前年同月比	前月比
製造業	食料品	☔	↘
	繊維工業	☔	→
	木材・木製品	☔	→
	印刷	☔	→
	窯業・土石製品	☔	→
	一般機器	☁	→
非製造業	輸送機器	☁	→
	卸売業	☔	↘
	小売業	☔	↘
	商店街	☔	↗
	サービス業	☁	↗
	建設業	☔	→
	運輸業	☔	→
その他	☁	→	



地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<http://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製	食料品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国旅行支援で利用者が増加したが、コロナ前の売上には戻っていない。反動がどうなるか既に年末年始を不安視する声もある。(パン・菓子製造業 山陽小野田市) ○ 電気・ガスの高騰が続き、収益を圧迫している。(パン・菓子製造業 下関市) ○ 海の環境変化で水産加工原料の水揚げ減少が続いており、また、漁師の廃業も多い。最低賃金アップと加工の人手不足で人件費が高騰している。(水産食料品製造業)
	繊維工業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 円安などによる更なるコストアップが気になる。(外衣・シャツ製造業)
	木材・木製品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 売上は、コロナ前の令和元年10月に比べ20%減少、コロナ禍の令和3年10月と比べ10%増加。ウッドショックの反動として、住宅着工数の減少で、高値で仕入れた在庫がだぶつき価格が下落している。(製材業・木製品製造業)
造	印刷	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10月後半、工場の稼働率がぐっと下がり、従業員も手隙な状態が続いた。(山口市) ○ 業界では受注増加の実感はなく、売上も前年比横ばいの状況である。原材料の高騰は続いており、設備産業である印刷業が、設備投資を積極的に行えない状況の中で、毎期定期的に利益を確保していくのは非常に困難な時代である。(下関市)
	窯業・土石製品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10月よりセメントが1t当たり3千円値上がり、定価を5%程度値上げで採算が合うが、4ヶ月前の運賃、鋼材の価格転嫁もできていない。(コンクリート製品製造業) ○ 燃料価格上昇で、墓石の撤去・処分費用を上げざるを得ない状況(石工品製造業) ○ 前年比10%程度の売上アップ。全国旅行支援の影響。(陶磁器・同関連製品製造業)
業	一般機器	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月からの繁忙期。仕事は多くて良いが、特に人材不足が深刻と感じる。(下松市) ○ 令和5年8月までの生産力7~8割程度の発注内示があり好調だが、価格の据置きで収益が出る状況にはない。資材の遅れで受注出来ないことがある。(防府市) ○ 大きな変化は見られないが、景気高揚の期待感を持っている。(宇部市)
	輸送機器	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道車両関係は順調に推移している。半導体は、例年の2~3倍の受注量で引き続き好調に推移の見通し。従業員確保に苦労している。(鉄道車両・同部品製造業)
	卸売業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 倉庫売上は前年同月比でやや減少し、電気料金は40万円の高騰と厳しい状況。少しでも補填するように9月から自家発電用のソーラー発電を開始した。(乾物卸売業)
非	小売業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 寒くなるにつれてクリームなどの高額商品が出始めるが、光熱費や食料品等の値上げに伴い、化粧品の購買客単価が下がってきている模様。(化粧品小売業) ○ 売上は、全国旅行支援により観光需要が増加し前年同月比10%程度増加したが、経費面の商品仕入価格、電気代等が大幅に上昇し、収益は厳しい。(各種商品小売業)
	商店街	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナが一段落したかと思うと、1月に1缶2,000円であった揚げ油が今は6,500円となり、これほど急激な値上げには対応不可能。市議会議員選挙では、市街地候補が得票数を落とし、有権者の「市街地への興味・関心の薄れ」を感じる。(岩国市) ○ 恒例の秋のイベントも復活し始め、人流も増えつつあり、今後に期待しているが、物価の上昇と若干のコロナの増加が心配である。(宇部市)
	サービス業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 売上は良くなりつつあるが、物価高騰で価格転嫁する店舗もみられる。(理容業) ○ 2ヶ月後の自動車検査証の電子化の開始で、運輸支局に向く必要が無くなるメリットもあるが、組合では商品等購入が減少するデメリットが心配。(自動車整備業) ○ 衣替えの繁忙期だが、材料や人件費の高騰で利益は薄い。(普通洗濯業) ○ 全国旅行支援が始まって、忙しくなった模様。(旅行業) ○ 土、日、祝は満室。「旅々やまぐち割プラス」で平日もほぼ満室。行政の後押しに感謝しているが、準備期間が短く人手不足でフロントが手間をとっている。(旅館業)
業	建設業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上半期の地区公共事業受注高は例年の約5割と非常に少ない。燃料費、生コン、アスファルト、鋼材、木材等が高騰しており、収益への影響が心配。(一般土木工事業) ○ 瓦の仕入れ価格が上昇している。新築着工物件の屋根材として瓦以外の採用が増加している。これらの事由により業界の先行きが見通せない状況である。(屋根工事業) ○ 図面決定の遅れで工場稼働率が低下。資材高騰で、工事遅れや中止・延期も散見され、相変わらず見積物件も少ない様子で先行き不透明である。(鉄骨・鉄筋工事業)
	運輸業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車関連の組合輸送取扱高は前年比17%程度の増加だが、コロナ前の水準には遠く及ばず75%程度。燃料費は前年比2.2%だが、前々年比は41%の値上り。(一般貨物自動車運送業) ○ 10/1~20のタクシーチケット取扱い金額(税込み)は、+12.1%。前々年度比では、▲6.2%。タクシー乗務員は労働条件が厳しい(賃金が少ない)事もあって慢性的に不足している。(一般乗用旅客自動車運送業)
	その他	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人技能実習生受入は無く現状停止したまま。企業は、即戦力になりづらい外国人技能実習生より年配者でも日本人の採用を希望しているように感じる。(介護事業)

組合



組合運営上における注意点等をQ & A方式でお伝えします。

賛助会員制度について

Q

賛助会員制度の導入を検討していますが、次の点について教えてください。

1. 賛助会員の資格に制限はありますか？
2. 賛助会員の組合事業利用は、員外利用扱いになりますか？

A

1. 制限はありませんが、目的をよく見極める必要があります。事業協同組合定款参考例により、賛助会員制に関する規定が次のように位置づけられています。

「第55条 本組合は、本組合の趣旨に賛同し、本組合の事業の円滑な実施に協力しようとする者を賛助会員とすることができる。但し、賛助会員は本組合において、法に定める組合員には該当しないものとする。
2 賛助会員について必要な事項は、規約で定める。」

この賛助会員制度が定款例に位置づけられた趣旨は、組合が賛助会員制を活用して外部関係者を組織化することにより、その協理理解を得るなど、最近特に重要性が高まっている組合と組合外部との交流・連携を促進しようというものであり、単なる資金集めのためにこの制度を活用することはできません。外部関係者を組織化することにより、その協力・理解関係の一層の増進に資するという賛助会員制度の主旨に留意し、その範囲を逸脱しないようにすることが肝要です。

2. 賛助会員は組合員ではないので、定款に定める組合事業を利用する場合は、員外利用に該当することになります。定款参考例では、賛助会員について必要な事項を規約で定めることとしているので、賛助会員制を導入する場合は、規約を設け、制度の内容を明確にしておくことが必要です。

『組合質疑応答集』（編集発行者 全国中小企業団体中央会）より引用し一部改変

組合運営にあたっての参考資料として販売しています。お求めの方は本会までお問い合わせください。

ものづくり補助金13次締切の公募が開始されました！

「ものづくり補助金」が大きく変化！

1 従業員規模に応じた補助上限額の設定

従業員規模	第9回締切まで	従業員規模	第10回締切以降
5人以下	1,000万円以内	5人以下	750万円以内
6人～20人		6人～20人	1,000万円以内
21人以上		21人以上	1,250万円以内

2 補助対象事業者の見直し・拡充

- ①補助対象事業者に、資本金10億円未満の**特定事業者**を追加し、中小企業から中堅企業への成長途にある企業群を支援
- ②**再生事業者**を対象に補助率を2/3に引き上げ

3 3つの新枠を創設

- ①回復型賃上げ・雇用拡大枠：業況が厳しいながらも賃上げ・雇用拡大に取り組む事業者
- ②デジタル枠：DX等に取り組む事業者
- ③グリーン枠：温室効果ガスの排出削減等に取り組む事業者を支援

13次締切のスケジュール

詳しくはものづくり補助金HPをご覧ください。

- 公募開始：令和4年10月24日(月)
申請開始：令和4年11月7日(月)
申請締切：令和4年12月22日(木)
採択発表：令和5年2月中旬頃



常設相談室での個別相談開催中

(山口県中小企業団体中央会 ものづくり支援室)
山口市中央五丁目2番34号 セントラルビル2階
TEL: 083-902-2580 FAX: 083-902-2581
電話で予約して来会して頂くことも可能、Zoomでも対応可
月～金 9:00～17:00 TEL: 083-902-2580

中小企業経営者のみなさまへ

国が準備した
セーフティネット
安心の材料を
ご提供します。

※詳しくは、ホームページまたは
パンフレットをご覧下さい
共済相談室 TEL. 050-5541-7171
【受付時間】 平日 9:00～17:00

小規模企業共済制度

●制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

他にもこんな特徴があります。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

●契約者貸付けの利用が可能
契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

●共済金の受給権は差押禁止
共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

- 1 掛金の10倍の範囲内で最高**8,000万円**まで貸付け
「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額（最高8,000万円）」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年（据置期間6か月を含む）で毎月均等償還です。

2 貸付条件は無担保・無保証人

共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けますと貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。

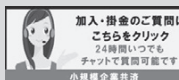
3 掛金は税法上損金（法人）または必要経費（個人事業）に

掛金月額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。

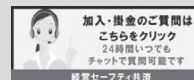
チャットボット

24時間・365日
お問い合わせに
お答えします

加入資格・手続きについてのご質問を
チャットでご回答いたします。
詳しくは右記のQRコード又はホーム
ページからご確認ください。



小規模共済 検索



経営セーフティ共済 検索

Be a Great Small.
中小機構

令和4年秋の叙勲 受章おめでとうございます

旭日双光章（中小企業振興功労）

現 山口県中小企業団体中央会理事

奥野 丞 様

（現 吉見安岡蒲鉾協同組合理事長）

旭日双光章（生活衛生功労）

現 山口県中小企業団体中央会理事

吉永 和義 様

（現 山口県理容生活衛生同業組合理事長）

旭日単光章（消防功労）

現 山口県管工事協同組合連合会副理事長

河本 眞一 様

（現 光市管工事協同組合理事長）

旭日単光章（農業振興功労）

現 有限会社名田島農産代表取締役

秋本 清夫 様

（現 山農協同組合理事長）

令和4年山口県選奨 受賞おめでとうございます

保健衛生・環境功労

現 山口県環境整備事業協同組合理事長

山田 幹二 様

産業功労

元 山口県味噌醤油協同組合理事長

松野 裕一 様

税務署によるインボイス説明会の開催について

税務署では、事業者の方を対象としたインボイス制度説明会（無料）を開催していますので、「制度について知りたい」という方は、事前登録の上、説明会に是非ご参加ください。

開催日	時間	開催場所	連絡先
12月15日	①14:00~15:00 ②15:00~16:00	萩税務署（萩市唐樋町3-7）	0838-22-1273
12月15日	①14:00~15:00 ②15:00~16:00	厚狭税務署（山陽小野田市大字鴨庄111-1）	0836-72-0162
12月15日	①14:00~15:00 ②15:00~16:00	徳山税務署（周南市今宿町2丁目35番地）	0834-51-1119
12月16日	①10:00~11:00 ②11:00~12:00	山口税務署 （山口市中河原町6番16号 山口地方合同庁舎2号館）	083-966-1051
12月19日	①13:30~14:30 ②14:30~15:30	防府税務署（防府市緑町1-2-12）	0835-22-1405
12月20日	①14:00~15:00 ②15:00~16:00	長門税務署（長門市東深川964番地1）	0837-22-2457
12月21日	①14:00~15:00 ②15:00~16:00	光税務署（光市虹ヶ浜三丁目10番1号）	0837-71-0166

※説明会は①【導入編】②【基礎編】に分かれています。ご希望の説明会を選択いただきご参加ください。

①【導入編】今まで消費税の申告をされたことがなく、消費税の基本的な仕組みから理解されたい方、インボイス発行事業者の登録をすべきか検討されている方向けに説明します。

②【基礎編】インボイス制度の概要、売手・買手の留意点、登録申請手続等について説明します。

※「事前登録制」で開催していますので、参加を希望される場合は、その説明会の連絡先にお電話等で事前登録（開催日前日の15時まで）をお願いします。



若手労働者の雇用ツールに 動画を作成し、YouTube 配信で閲覧数大幅アップ

「日本全国組合紀行」では、全国の様々な組合の取組について紹介します。

今回は、若年者の人材確保に動画を利用し、YouTube配信を行ったことにより、若年層求職者に受け入れられた「協同組合鳥取県鉄構工業会」の取り組みを紹介します。

協同組合鳥取県鉄構工業会

鳥取県倉吉市清谷町2丁目68
パレットハウス1-105号
理事長 俊島 昭博

〈設立年月日〉

昭和52年2月22日

〈組合員数〉

15社

〈組合員業種〉

機械金属製品製造業



協同組合鳥取県鉄構工業会HP
<https://tekkou-kogyoukai.com/>



〈取組の背景〉

令和2年当時は、組合員各社とも事業が活発化していたにもかかわらず、高齢化が進み、若手人材の不足が大きな課題となっていた。また雇用を期待するターゲットの若年者には鉄構業界の認知度も低く、新たな手法でイメージアップを図り、雇用につながる活動が課題となった。そのため組合全体の人材確保事業として取組みを考えた。

〈取組の内容と成果〉

動画作成について理事会等で検討を進める中で、鳥取県中央会より「人材確保PR支援事業」の活用アドバイスがあり、検討委員会を立ち上げた。

動画の構成には、映像の専門家からインパクトのある映像で分かり易い内容、従業員等が出演することが受け入れやすいというアドバイスを受けながら、人材募集と企業紹介の二面性をもってドローンによる組合員工場の全景紹介、従業員のインタビューによる職場環境や仕事の内容紹介等を行った。またハローワーク等の求人掲載にも若年者が気軽に企業の動画が見えるようにHPのURLを掲載したことが「求人企業の可視化」にも役立った。若者の利用率が高く話題性のあるYouTubeを活用して配信したことにより、従前に比較して格段にHPの閲覧件数が増え、月間200件以上となった。

従来、ハローワークや求人誌に求人広告等を出しても反応が薄く応募に至らなかったため、若手の求人者に向けた求職内容や職場環境、従業員の生の声を掲載するなどの作成の工夫が閲覧数増加につながり、動画が若者に受け入れられている確信が得られた。地域の工業高校にも作成した動画をDVDにして配付し、学校から好評を得ている。これらの取組みにより組合員各社の従業員は、見たことがなかった同業他社と自社を比較することが出来、自社の職場改善意識と業界の重要性の理解につながった。

協同組合鳥取県鉄構工業会が実際に作成したYouTube動画は右のQRコードよりご覧ください。

